

泉ヶ丘駅前地域における近畿大学医学部等の設置に関する 基本協定の締結について

大阪府、堺市、学校法人近畿大学の3者は、泉ヶ丘駅前地域における近畿大学医学部及び附属病院等（以下、「近畿大学医学部等」といいます。）の設置に関し、基本協定を平成26年7月16日（水）に締結することとなりましたのでお知らせします。

この基本協定の締結により、泉北ニュータウンの再生及び南大阪地域の医療機能向上などに寄与する近畿大学医学部等の設置に向けた取り組みがスタートします。

近畿大学医学部等のオープンは平成35年度の予定であり、大阪府及び堺市は地元のみならず調整を行いながら各事業を進めるとともに、学校法人近畿大学は医療法等の関係手続きを行い、概ね5年後に工事着手する予定です。

○近畿大学医学部等の設置候補地



(学校法人近畿大学 資料)

学校法人近畿大学の医学部等の再編構想

- ・ 近畿大学医学部および附属病院（大阪狭山市）と近畿大学医学部堺病院（堺市）について耐震化を図るために再編
- ・ 新キャンパスのコンセプトは、昨今の医療制度の変革に対応した「実学」を實踐できる教育機関として構想
- ・ 南大阪地域の唯一の医育機関として、また、災害拠点病院としても地域の皆様へ更なる貢献をめざす
- ・ 医療の担い手を教育する機関をコアとし、隣接して特定機能病院（1,000床規模）を建設し高度先進医療、がん疾患等を中心に提供する予定
- ・ 大阪狭山市にある機能は、地域医療を考慮しつつ新病院と一体となった機能分担、連携を図り、300床規模として再編。近畿大学医学部堺病院（堺市）は、閉院の予定

○再編構想図

